

【チェック要否欄の凡例】
 ○:チェックする
 ×:チェックしない

表2 取引先情報のファイル登録のチェック仕様詳細 (1/3)

項番	チェック対象	チェック条件	チェックがNGとなった場合のエラー種別（登録状況）	エラーコード	アップロードファイル形式毎のチェック要否			「取引先情報のグループ管理機能」の利用有無によるチェック要否		取引先の金融機関ならびに登録状況に応じたチェック要否		
					①集信1形式	②総合振込形式	③CSV形式	利用する	利用しない	自行	他行	
											同一の取引先情報の登録有り	同一の取引先情報の登録無し
1	ファイル全体	ファイル内にデータが存在すること。	ファイル全体エラー	CCOM3924Le	○	○	○	○	○	○	○	○
2		レコード長が規定のバイトであること。	ファイル全体エラー	CCOM3920Le	○	○	×	○	○	○	○	○
3		規定のCSV形式であること。	ファイル全体エラー	CCOM3921Le	×	×	○ (注1)	○	○	○	○	○
4		ファイルの先頭がヘッダレコードであること。	ファイル全体エラー	CCOM3923Le	○	○	×	○	○	○	○	○
5		エンドレコードが存在すること。	ファイル全体エラー	CCOM3923Le	○	○	×	○	○	○	○	○
6		ヘッダレコードの場合、先頭にあるか、前のレコードがトレーラレコードであること。	ファイル全体エラー	CCOM3922Le	○	○	×	○	○	○	○	○
7		データレコードの場合、前のレコードがヘッダレコードかデータレコードであること。	ファイル全体エラー	CCOM3922Le	○	○	×	○	○	○	○	○
8		トレーラレコードの場合、前のレコードがデータレコードであること。	ファイル全体エラー	CCOM3922Le	○	○	×	○	○	○	○	○
9		エンドレコードの場合、前のレコードがトレーラレコードであること。	ファイル全体エラー	CCOM3922Le	○	○	×	○	○	○	○	○
10		トレーラレコード以降に後続のレコードが存在する場合は、項番6～項番10のチェックを繰り返す。	-	-	○	○	×	○	○	○	○	○
11		項番3～10のチェックにエラーがない場合、データレコードの件数が20,000件以内であること。(注2)	ファイル全体エラー	CCOM1556Se	○	○	○	○	○	○	○	○
12	種別コード	種別コードが指定されていること。	ファイル全体エラー	RCOM1028Le	○	○	×	○	○	○	○	○
13		種別コードが半角数字であること。	ファイル全体エラー	RCOM1027Le	○	○	×	○	○	○	○	○
14		種別コードが発生記録請求（債務者請求方式）“11”または発生記録請求（債権者請求方式）“12”または譲渡記録請求“20”または分割記録請求“30”のいずれかであること。	ファイル全体エラー	RCOM1027Le	○	×	×	○	○	○	○	○
15		種別コードが“21”総合振込となっていること。	ファイル全体エラー	RCOM1027Le	×	○	×	○	○	○	○	○
16	文字コード区分 (注3)	文字コード区分が指定されていること。	ファイル全体エラー	RCOM1028Le	○	○	×	○	○	○	○	○
17		文字コード区分が半角数字であること。	ファイル全体エラー	RCOM1027Le	○	○	×	○	○	○	○	○
18		文字コード区分がJIS“0”またはEBCDIC“1”であること。	ファイル全体エラー	RCOM1027Le	○	○	×	○	○	○	○	○

表2 取引先情報のファイル登録のチェック仕様詳細(2/3)

項番	チェック対象			チェック条件	チェックがNGとなった場合のエラー種別(登録状況)	エラーコード	アップロードファイル形式毎のチェック要否			「取引先情報のグループ管理機能」の利用有無によるチェック要否		取引先の金融機関ならびに登録状況に応じたチェック要否			
							①集信1形式	②総合振込形式	③CSV形式	利用する	利用しない	自行	他行		
													同一の取引先情報の登録有り	同一の取引先情報の登録無し	
19	データ区分			データ区分が指定されていること。	エラー	RCOM1028Le	×	×	○	○	○	○	○		
20				データ区分が1桁かつ半角数字であること。	エラー	RCOM1027Le	×	×	○	○	○	○	○	○	
21				データ区分が“1”であること。	エラー	RCOM1027Le	×	×	○	○	○	○	○	○	
22	集信1形式	総合振込形式	CSV形式	—	—	—	—	—	—	○	○	○	○		
23	データレコード	取引相手情報	利用者番号	—	利用者番号	取引相手情報の利用者番号が指定されていること。	エラー	RCOM1028Le	○	×	×	○	○	○	
24			利用者番号	—	利用者番号	取引相手情報の利用者番号が9桁かつ半角英数字であること。	エラー	RCOM1027Le	○	×	△ (注5)	○	○	○	○
25			金融機関コード	被仕向銀行番号	金融機関コード	取引相手情報の金融機関コードが指定されていること。	エラー	RCOM1028Le	○	○	○	○	○	○	
26		金融機関コード	被仕向銀行番号	金融機関コード	取引相手情報の金融機関コードが4桁かつ半角数字であること。	エラー	RCOM1027Le	○	○	○ (注6)	○	○	○	○	
27		支店コード	被仕向支店番号	支店コード	取引相手情報の支店コードが指定されていること。	エラー	RCOM1028Le	○	○	○	○	○	○	○	
28					取引相手情報の支店コードが3桁かつ半角数字であること。	エラー	RCOM1027Le	○	○	○ (注7)	○	○	○	○	○
29					取引相手情報の支店コードが存在すること。	エラー	RCOM1033Se	○	○	○	○	○	○	○	○
30		預金種目	預金種目	口座種別	取引相手情報の口座種別が指定されていること。	エラー	RCOM1028Le	○	○	○	○	○	○	○	
31					取引相手情報の口座種別が1桁かつ半角数字であること。	エラー	RCOM1027Le	○	○	○	○	○	○	○	○
32					取引相手情報の口座種別が普通“1”または当座“2”またはその他(別段)“9”であること。	エラー	RCOM1027Le	○	○	○	○	○	○	○	○
33		口座番号	口座番号	口座番号	取引相手情報の口座番号が指定されていること。	エラー	RCOM1028Le	○	○	○	○	○	○	○	
34					取引相手情報の口座番号が7桁かつ半角数字であること。	エラー	RCOM1027Le	○	○	○ (注8)	○	○	○	○	○
35		—	—	登録名	取引相手情報の取引先登録名が全角文字60桁以内であること。	エラー	RCOM1027Le	×	×	○	○	○	○	○	
36		債権金額 (注9)			債権金額が指定されていること。	正常(ワーニング有)	RCOM1024Li	△ (注10)	△ (注10)	×	○	×	○	○	
37					債権金額が10桁かつ半角数字であること。	正常(ワーニング有)	RCOM1024Li	△ (注10)	△ (注10)	○ (注11)	○	×	○	○	○
38	債権金額が10,000円以上であること。				正常(ワーニング有)	RCOM1024Li	△ (注10)	△ (注10)	○ (注17)	○	×	○	○	○	
39	取引先グループ			取引先グループID1から取引先グループID20が“null”または1桁の半角数字であること。	正常(ワーニング有)	RCOM1031Li	×	×	○	○	×	○	○		
40				取引先グループID1から取引先グループID20が“null”または非所属“0”または所属“1”であること。	正常(ワーニング有)	RCOM1031Li	×	×	○	○	×	○	○	○	
41	取引先所属グループ			指定した取引先グループが利用中であること。 (注12)	正常(ワーニング有)	RCOM1025Li	×	×	○	○	×	○	○		
42				指定した取引先グループに登録する取引先の件数が500件以内であること。	正常(ワーニング有)	RCOM1026Li	○	○	○	○	×	○	○	○	

表2 取引先情報のファイル登録のチェック仕様詳細 (3/3)

項番	チェック対象	チェック条件	チェックがNGとなった場合のエラー種別 (登録状況)	エラーコード	アップロードファイル形式毎のチェック要否			「取引先情報のグループ管理機能」の利用有無によるチェック要否		取引先の金融機関ならびに登録状況に応じたチェック要否		
					①集信1形式	②総合振込形式	③CSV形式	利用する	利用しない	自行	他行	
											同一の取引先情報の登録有り	同一の取引先情報の登録無し
42-1	手数料負担区分	手数料負担区分が“null”または1桁の半角数字であること。	エラー	RCOM1027Le	×	×	○	○	○	○	○	○
42-2		手数料負担区分が“null”または当方負担“1”または先方負担 (登録済み金額) “2”または先方負担 (指定金額) “3”であること。	エラー	RCOM1027Le	×	×	○	○	○	○	○	○
42-3	指定金額	指定金額が指定されていること。	エラー	RCOM1028Le	×	×	△ (注22)	○	○	○	○	○
42-4		指定金額が4桁以下かつ半角数字であること。	エラー	RCOM1027Le	×	×	△ (注22)	○	○	○	○	○
43	口座情報 (重複・既登録)	ファイル内に同一の口座情報 (金融機関コード、支店コード、口座種別、口座番号) が存在しないこと。(注13)	エラー	RCOM1029Le	○	○	○	×	○	○	○	○
44		「ファイル登録を行った企業の既登録の取引先情報」の中に、同一の口座情報 (金融機関コード、支店コード、口座種別、口座番号) が存在しないこと。(注14)	エラー	KCMN1065Le	△ (注15)	△ (注15)	△ (注15)	×	○	○	○	○
44-1		ファイル内に同一の口座情報 (金融機関コード、支店コード、口座種別、口座番号) が存在しないこと。(注18)	エラー	RCOM1029Le	△ (注19)	△ (注19)	△ (注19)	○	×	○	○	○
44-2		「ファイル登録を行った企業の既登録の取引先情報」の中に、同一の口座情報 (金融機関コード、支店コード、口座種別、口座番号) が存在しないこと。(注14)	エラー	KCMN1065Le	△ (注19)	△ (注19)	△ (注19)	○	×	○	○	○
45	口座情報 (存在確認)	【取引先情報の金融機関が「自行分」の場合】 「DENTRANS内の利用者情報 (口座情報)」への口座確認で、口座情報 (金融機関コード、支店コード、口座種別、口座番号) が確認できること。(注14)	エラー	KCMN1013Se	○	○	○	○	○	○	×	×
46		【取引先情報の金融機関が「他行分」の場合】 「ファイル登録を行った企業の既登録の取引先情報」への口座確認で、口座情報 (金融機関コード、支店コード、口座種別、口座番号) が確認できること。(注14)	口座未確認	-	○	○	○	本チェックの実施条件は (注20) 参照				
47	口座情報 (利用者番号の組合せ)	【取引先情報の金融機関が「自行分」の場合】 「DENTRANS内の利用者情報 (口座情報)」への口座確認で、口座が一致した取引先情報に対して、利用者番号が一致すること。(注16)	エラー	RCOM1030Le	○	×	○	○	○	○	×	×
48		【取引先情報の金融機関が「他行分」の場合】 「ファイル登録を行った企業の既登録の取引先情報」への口座確認で、口座が一致した取引先情報に対して、利用者番号が一致すること。(注16) また、候補の取引先情報が複数該当する場合は、登録順が最も若い (直近で登録したもの) の、取引先情報の利用者番号との一致を試みる。	エラー	RCOM1030Le	○	×	○	○	○	×	○	×

(注1)	CSV形式については、「レコードの項目数が一致していること」、「カンマ区切り」、「改行はCR、LF、CR+LFのいずれか」をチェックする。(ダブルオーテーションの有無は任意とする。)「レコードの項目数が一致していること」については、「取引先情報のグループ管理機能」の利用有無に関わらず、項目数33、カンマ数32のチェックを行う。金融機関オプション「先方負担手数料機能の利用有無」が「利用する」の場合は、項目数33～84、カンマ数32～83のチェックを行う。(手数料(項番34)以降のフィールドの省略を可能とする。)また、CSV形式のファイルフォーマットの、取引先グループID01～ID20(項番14～33)については、未設定も許容し、値の設定がない場合は、「0:非所属」として取り扱う。
(注2)	取引先情報ファイル登録画面で指定した登録方法により、チェック対象の件数が異なる。 ①登録方法:追加のみ [既登録件数+ファイルのレコード件数]で20,000件を超えた場合はエラーとする。 ②登録方法:全取引先を削除し追加 [ファイルのレコード件数]で20,000件を超えた場合はエラーとする。
(注3)	総合振込形式の場合は、「コード区分」を対象に、本チェックを行う。
(注4)	CSV形式については、文字コード区分の項目が存在しないため、チェック対象外である。 なお、CSV形式は、Shift_JISのみ許容する。
(注5)	CSV形式については、利用者番号の設定は任意であるため、値が設定されている場合のみ「1桁以上、9桁以内」、「半角英数字」であることをチェックする。 また、利用者番号が9桁に満たない場合は、前ゼロを補完して登録する。
(注6)	金融機関コードの値が「1桁以上、4桁以内」、「半角数字」であることをチェックする。 また、金融機関コードが4桁に満たない場合は、前ゼロを補完して登録する。
(注7)	支店コードの値が「1桁以上、3桁以内」、「半角数字」であることをチェックする。 また、支店コードが3桁に満たない場合は、前ゼロを補完して登録する。
(注8)	口座番号の値が「1桁以上、7桁以内」、「半角数字」であることをチェックする。 また、口座番号が7桁に満たない場合は、前ゼロを補完して登録する。
(注9)	取引先情報ファイル登録画面の「ファイル中の金額を債権金額として登録」をチェックした場合、ファイル毎に、以下のとおり債権金額として利用する。 ①集信1形式の場合 : 債権金額 ②総合振込形式の場合 : 振込金額 なお、ファイルに設定されている金額が、0～9,999円の場合は、登録債権金額を利用しない。
(注10)	取引先情報ファイル登録画面の「ファイル中の金額を債権金額として登録」をチェックした場合に、本チェックを行う。
(注11)	CSV形式については、債権金額の値が「1桁以上、10桁以内」であることをチェックする。
(注12)	未使用の取引先グループを指定していた場合でもエラーとせず、チェックならびに登録処理を継続する。 その場合、未使用の取引先グループが指定されていたことを、ワーニングとして還元する。
(注13)	レコード順が一番若いレコードのみ正常とする。
(注14)	同一の口座情報の存在有無の確認には、ファイル中の「金融機関コード、支店コード、口座種別、口座番号」を用いることとし、「利用者番号」は含めない。
(注15)	取引先情報ファイル登録画面の登録方法で「全取引先を削除し追加」を選択された場合は、本チェックは行わない。
(注16)	CSV形式については、利用者番号の設定は任意であるため、値が設定されている場合のみ、本チェックを行う。
(注17)	CSV形式については、債権金額の値が「0」の場合のみ正常とする。
(注18)	同一の口座情報がファイル内に複数存在した場合は、レコード順が一番若いレコードのみ正常とする。
(注19)	取引先情報ファイル登録画面の取引先情報重複登録可否チェックボックスにチェックが有の場合※のみ、本チェックを行う。 ※重複登録を許容しない

(注20)	本チェックの実施条件については下記の通り。						
	金融機関オプションの申込状況		登録方法 (取引先情報 ファイル登録画面)	口座情報(存在確認) 実施有無	チェック実施時の判定		備考
	取引先グループ 登録機能	他行取引先の 法人名/個人事業者名 再確認機能			登録済の取引先情報 が存在する場合 (結果OK)	登録済の取引先情報 が存在しない場合 (結果NG)	
利用する	利用する	追加のみ 既存の取引先を全て 削除し追加	実施する 実施しない	正常 口座未確認	口座未確認	チェックを行わず、登録状況 を「口座未確認」とする	
(注22)	手数料負担区分が先方負担(指定金額)“3”の場合のみ、本チェックを行う。 ※手数料負担区分が先方負担(指定金額)“3”以外の場合は読み飛ばす。						